

第48回 中国(上海)自由貿易試験区について

2013年9月より中国(上海)自由貿易試験区全体法案についての通知が発表されました。この試験区は中国経済成長のカギを握る方策として発表されましたが、日本企業の成果としてはまだまだ、という感じですね。

この上海自由貿易区は弊社が本拠をかまえる上海浦東新区にも設置されました。新しい仕組みや政策について日系企業の理解を深めるため、上海日本商工クラブが「上海自由貿易区拡大政策説明会」を開きました。巨大市場における規制緩和に向けた市場開放政策に、日系企業の関心度も高く、三井物産、伊藤忠商事などの大手商社を含め100社ほどが参加しました。

勢い足りない日系企業

浦東新区上海自由貿易試験区において日系企業の経済効果は区内外資総額のうち8%を占めており、投資国第4位に位置しています。また浦東新区における上海自由貿易試験区231社の外資企業のうち、日系企業は全体の19%を占める44件です。

自由貿易区の拡大以来、日本投資成長率が200%に達しています。主に商業貿易、コンサルティング、ファイナンスリース、医学研究などの分野です。中には自由貿易区で始めて独资による病院を開業した日系企業もあります。

中国の高齢者マーケット

～介護・不動産事業の行方～



ゲストハウス社長
松山英樹

著者プロフィール
ゲストハウス社長。2007年から高齢者住宅リボーンシリーズを関西圏で展開。中国市場開拓を目指し、上海に中国シニア事業会社設立。